

発 行 所
広島大学工学同窓会東広島支部
事務局 東広島市西条西本町 2－3 0
(株)サタケ 技術本部 技術企画室内
TEL：082-420-8519

1. 東広島支部総会報告

(株)サタケ 近宗 克紀 (修Ⅱ H 9)

平成 2 7 年 6 月 2 6 日 (金)に今年度の広島大学工学同窓会 (旧名称：広島工業会) 東広島支部総会が開催され、東広島支部の会員数 1 5 0 名のうち、1 1 名の方々が参加されました。

総会は今年度も 3 部構成で開催されました。1 部では元 (株)サタケ専務で現在は広島大学大学院等非常勤講師、広島県研究開発評価会議座長、弁理士他さまざまな顔をお持ちでいらっしゃいます保坂幸男氏をお迎えして講演会を、2 部では議題審議を、また 3 部では本部事務局から松尾彰専務理事をお迎えし、東広島市西条岡町の「白竜湖」で行いました。以下、3 部構成の総会の開催概要です。

○総会 1 部 (講演会)

保坂 幸男 氏 講演

(広島大学大学院等非常勤講師、広島県研究開発評価会議座長、弁理士他、
(元 (株)サタケ専務))

演題 「体験的研究開発論・世の中雑感」

ご講演内容としては、保坂氏がこれまで様々な人たちと交流をされている中から、印象深かったことについてお話をされました。

まず初めに「別世界」と題して、大学時代同学科の同級生である元日本 IBM 専務の富永氏の言葉「昨日のことを覚えているようじゃだめだよ！」を紹介。非常に猛烈な速さで進歩する世界にいる人がどのような考え方をされているかを端的に説明されました。また、「成果主義」は先がなく能力があるものが「挑戦し続ける状態」を評価することの重要性について説明されました。

次に「大切なことを学ぶ」と題し、学校の勉強だけでは学べないことについてお話をされました。大学での成績とその後の出世との関係や歌舞伎町から学ぶこと、「ひとのため」という意識をもって行動すると、あとからちゃんとお金がついてくる」といった、興味深いお話をされました。

その後「人の生命力」と題し、農水官僚から 60 歳で医師になった方の話、「本当に偉い人は偉ぶっていない」と題し、勉強すればするほど無知を知り謙虚になること、「愚直 (愚鈍) に生きる」と題し、様々な方の言葉から「他にぶれず一つのことを行い続けること」の大切さを話されました。

最後に「置かれた場所で咲く」と題し、ノートルダム清心学園理事長のシスター渡辺和子氏の言葉を紹介されました。どんな場所、どんな状況に置かれても、そこで精一杯頑張ることの大切さをお話しされました。



保坂氏による講演会風景

全体を通して非常にユニークな視点で、時には少し辛口な表現もあり、大変興味深いお話でした。最後の質疑応答でも聴講者からいろいろな質問や意見が出てくるなど、非常に活発で有意義な時間となりました。保坂様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

○総会 2 部 (東広島支部に関する議題審議)

第 1～3 号議案：平成 2 6 年度の活動報告、決算・監査報告及び決算について

第 4、5 号議案：平成 2 7 年度の事業計画 (案)、予算 (案) について

第 6、7 号議案：平成 2 7 年度の役員及び今後の執行体制について

総会 2 部では、河野支部長を議長に、上記 7 つの議案について審議を行いました。結果、すべての議案について満場一致で承認されました。

第 4 号議案では、新たな活動として東広島支部「レクリエーション」の開催について検討を行いました。結果 8 月末に立食形式のパーティーで、ビンゴゲームやオークションなどの催しを行うことでの開催を決定いたしました。またこのレクリエーションについて支部活動補助の申請を本部に打診することになりました。併せて平成 2 8 年度支部総会の開催日を土曜日にすることを確認いたしました。

また、第 6 号議案の承認により平成 2 7 年度は以下のメンバーで支部活動を推進することとなりました。

広島大学工学同窓会 東広島支部 平成 2 7 年度 役員名簿					
支 部 長	河野安隆	豊国工業	理 事	加藤 学	シャープ
副支部長	和田和人	マイクロレジヤパン	理 事	瀬尾正好	シャープ
事務理事	木谷博郁	サタケ	理 事	島 治正	白牡丹酒造
理 事	来得康德	東広島市役所	理 事	庄林 学	賀茂鶴酒造
理 事	大田和彦	近大工学部	理 事	吉田 敬	日本クライメイトシステムズ
理 事	岩井八彦	エイト産業	理 事	田邊詳統	富士機械工業
理 事	李木経孝	広島国際学院大学	理 事	中廣顕伸	マイクロレジヤパン
理 事	隠野雅和	ダイキョーニシカワ	理 事	近宗克紀	サタケ
理 事	河吉利幸	豊国工業	監 事	台信達観	東広島市役所
理 事	下見広司	豊国工業	監 事	森長孝史	マイクロレジヤパン

○総会 3 部 (懇親会)

恒例の懇親会は講演会・総会会場から移動して開催されました。総会 1 部、2 部に引き続きの方と懇親会から参加の方、合計 1 6 名の方々にご参会いただき、会員相互の親睦を図ることができました。今回ご講演いただいた保坂様にお礼の品としてオバマ大統領も飲まれた大吟醸・特製ゴールド賀茂鶴をお渡しいたしました。賀茂鶴といえば支部理事の庄林様のお勤めの酒蔵でもあり大変盛り上がりしました。また来賓の松尾専務理事からは、本部から各支部に対する支援など今後の取り組みについての思いを披露されました。最後はお決まりの広島大学歌の合唱で終わり、終始和やかに、また今後につながる有意義な時間を過ごすことが出来ました。



懇親会に参加頂いた皆様

2. 「夏のパーティーAction25」

豊国工業(株) 河野 安隆 (精 5 1)

2015 年 8 月 21 日 (土)、大盛況で「夏のパーティー」の幕を開けました。

きっかけは 2014 年の理事会でした。「総会にしても、懇親会にしても、参加者が少ないねえ・・・」、「若い人たちの支部入会が減ってるよ。」、「もっと活気を取り戻したいねえ・・・」とため息ばかりの話題がでました。「よお～し、それじゃあ、160 人の支部会員のうちの 25 パーセント、つまり 40 人を動員するイベントを計画しようじゃないか、そして会を活性化しようじゃないか」ということで、題して「ACTION25」がスタートを切りました。

2015 年の理事会でいよいよ計画が具体化し、当初は、「屋外でバーベキューパーティー」を開こうと案が出ていましたが、天候に左右されない屋内での「立食パーティー」に決まり、日程・会場が定まりました。

そうなれば、もう GOGO です。各理事さんが動員人数のノルマを持って、参加者と新入会員の勧誘です。動員ノルマ合計は 60 人。『ビンゴゲームで最高 2 万円の旅行券』という客引きパンダを使って、大動員活動を展開しました。が、結果は惨敗。2 3 人でした。各理事さんの頑張りがあったのですが、動員活動にもう工夫必要です。次回に向けての大課題です。

パーティーは大盛り上がりになりました。参加者が提供してくれた「お宝大オークション大会」。珍品がたくさん出ました。せりもにぎわいました。前もって現品を展示しておけば、もっと盛りあがっただろうなあ。そのあとは豪華景品つきの「ビンゴゲーム」です。楽しかったです、大好評でした。

そして、めくるめくパーティーは夜更けまで延々と続いていきました。

《インタビュー》

- ① ビンゴの YA さん：「萩焼の抹茶茶碗」欲しかったんですう。ちおううれしい。
- ② 100 円札を競り落とした MS さん：なつかしゅうて、2 枚もゲットしました。しかもピン札。
- ③ 漆ぬりの名刺入れを競り落とした TS さん：学長室の机の上にピッタリじゃ。ええもんつかんだよ。
- ④ クリーミービールサーバーの AT さん：これで美味しいビールを買うてもらえるエサが出来たわ。
- ⑤ 東京五輪の 1000 円硬貨の SN さん：2020 年東京で値上がりするぞお、ヒッヒッヒッ。



萩焼ゲット！



クロスゲット！



4. 持続可能な六次産業化モデル事業の構築を目指す

(株)サタケ 近宗 克紀 (修Ⅱ H9)
東広島支部事務局の近宗でございます。前回サタケの活動として「地域参画型循環事業モデル」についてご紹介いたしました。今回はこれにつきましてのその後をご紹介したいと思います。

サタケは「食を通してもっと元気な人を創る」「持続可能な農業を実現する」という中長期ビジョンに基づき、六次産業化を柱とする地域参画型循環事業モデルの構築に取り組

んできました。2011 年 12 月には GABA ライスを使ったおむすびの店舗「おむすびの GABA 西条店」を開店、地元産の米を付加価値の高い食品に加工して販売するモデル事業を行っています。

一方、今回農業生産法人を設立した東広島市豊栄町清武地区には、サタケグループで機械・食品の製造を受け持つ佐竹鉄工株式会社があり、地元の理解・協力のもと 50 年以上にわたり操業を行ってきました。地域住民の方々と情報交換をする中で、同地域では近年高齢化が進み、各農家においては将来的に予測される人手不足や離農といった問題が危惧されている、ということがわかりました。

そこで、サタケが持つ穀物加工や商品開発、マネジメントなどのノウハウを活用することで、これらの問題解決につなげることができればとの思いから、豊栄町住民自治協議会を通してサタケ、清武地区稲作農家の双方が一昨年より協議を重ねてきましたが、このたび共同して事業に取り組むことに合意し、農業生産法人を設立するにいたりしました。

今回の法人設立により、同地域においては人手不足が解消され、集落の維持・発展が図られることを期待されています。また、六次産業化のモデルケースとして、水稻を主体に生産からギャバ米などへの加工、販売までを一貫して取り組み、さらに将来的には林業や畜産業、商工業とも連携した地域参画型循環事業の構築を目指します。

設立にあたり、法人代表の松本和久（サタケ）は「ギャバライス加工などにより付加価値の高い食品を生産し、販売することで、持続可能な農業を実現する。農村地域が元気になる、若い人たちが帰ってくるような、魅力ある地域づくりに貢献したい」とコメントしています。



5. 広島大学工学同窓会 東広島支部会則

第1条 名称、会員、事務所

1. 本会は広島大学工学同窓会東広島支部と称し、東広島市及びその近郊に在住または勤務する広島大学工学部卒業生会員をもって組織する。
2. 事務所を当該年度の事務局を担当する企業内におく。

第2条 目的及び事業

1. 広島大学工学同窓会本部と連絡を密にし、会員相互の親睦と向上をはかり、あわせて地域産業の発展に寄与することを目的とする。
2. 前項の目的達成のために、総会（年1回以上）、役員会、見学会、談話会、懇親会、その他の趣味的・スポーツ的な会合等の業務を行う。

第3条 運営

1. 会議
総会、役員会とする。
総会は、年1回開催し、予算・決算の承認、選出した理事・監事の承認、会則の改訂、その他重要事項を審議決定する。ただし、必要に応じて臨時に開催することができる。
総会の審議決定は、出席者（委任状数を含む）の過半数の賛成を必要とする。
役員会は、支部長が招集し、本会の会務の企画・運営について協議する。
2. 役員会
役員会は次の構成とする。（理事は約20名とし、うち2名を幹事とする。）
 - (1) 支部長・副支部長
理事の中から支部長1名、副支部長1～2名を選ぶ。
 - (2) 事務理事
理事の中から事務理事1名を選ぶ。
 - (3) 監事
理事の中から監事2名を選ぶ。
 - (4) 理事
3. 役員の選出及び承認
全会員の中から、理事を選出し、それら理事を総会において承認する。理事の互選により支部長・副支部長・事務理事・監事を選出し、総会において承認する。
4. 役割

- (1) 理事は、役員会を構成して会務を議決し執行する。
- (2) 支部長は、本会を代表し、会務を統理する。
- (3) 副支部長は支部長を補佐し、その事故あるとき、または、欠員のとき、これを代理する。
- (4) 事務理事は、支部運営における事務局的位置付けとし、庶務一切の遂行責任者とする。
- (5) 監事は、本会の資金及び経理を監査する。
- (6) 支部長及び事務理事は、会則の原本証明等を行うことができる。

(7) 役員会

- ①支部活動の計画・運営に関する事項
- ②総会の計画・運営に関する事項
- ③研修会の計画・運営に関する事項
- ④懇親会の計画・運営に関する事項
- ⑤スポーツ大会の計画・運営に関する事項
- ⑥その他

(8) 事務局

- ①広島大学工学同窓会本部等との渉外業務に関する事項
- ②一般事務に関する事項
- ③会計に関する事項
- ④会報発行に関する事項
- ⑤会員名簿の作成に関する事項
- ⑥その他

5. 任期

- (1) 役員の任期は2ケ年とする。ただし、再任は妨げない。
- (2) 欠員を生じた場合は、ただちに補充し、その任期は前任者の残任期とする。

第4条 会計

1. 会費は、年額1,000円とする。ただし、各集会に当たっては必要に応じて、出席会費を徴収する。また、満70歳以上の会員については、会費を免除することができる。
2. 入退会は、各支部会員を有する諸団体の長（卒業年次の古参者）が、遅滞なく、支部長・事務理事にその旨、届け出るものとする。
3. 本会は有志の寄付金を受けることができる。
4. 会計年度は1年（4月より翌年3月）とする。

第5条 会則の改訂・付則

1. 本会則の改訂は、総会において出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。
2. この会則は昭和55年5月26日より実施した。（改訂変更日：略）
最終改訂日：平成26年6月28日
3. この会則で定めていない事項は、役員会で審議の上、総会の承認を受ける。

6. 事務局から

(1) 支部総会のお礼

開催日が金曜日ということで、皆さまお忙しい中、またお足元の大変悪い中、多くの方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。今回はよりご参加いただきやすい日程を検討いたしますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

(2) 訃報（会報30号以降に判明した方）

・醸造34 坪島 兵治 様
ご親族様より「平成24年12月24日に亡くなりました。生前は大変お世話になりました。」

ご冥福をお祈り申し上げます。

(3) 年会費の納入について

ゆうちょ銀行の振替払込用紙を、会報に同封させていただきます。
今年度の総会において、年会費を1,000円とすることに決まりました。若干ではありますが、ご負担も軽くなっております。振込手続き等、お手数ではございますが、ご納入の程、よろしくお願い致します。
なお、幹事会社の会員様には、各社窓口の方に徴収の労を取っていただいております。よろしくご協力の程お願い致します。

(4) 編集後記

会報31号をお届けいたします。
この度、事務局として2回目の会報発行となりました。何度やっても慣れないもので、皆様からのご支援をいただき何とかまとめております。次号は新たな事務局の方にお引継ぎする予定ですが、その際は一会員として協力できればと思っておりますが、是非、皆様からもたくさんのご投稿をいただければと思います。
引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

(事務局 近宗)